



リレーオピニオン

副サービス管理責任者 中田 晋

「ありがとう」

先日の事です。ある方の連絡ノートに私が書いた「ありがとう」という言葉。それをご家庭で読んで戴いた時のことです。

「ありがとう」が一番嬉しいみたいでした。顔がにやけていました（笑）とお母さんからの言葉。

私はその方の優しさが嬉しくて何気なく書いた言葉でしたが、なんだかあったかい気持ちになり、改めて大切な言葉なんだなあと思いました。と同時に、自分は利用者さんに対して「ありがとう」とたくさん言葉に出来ていたかな？と考えてしまいました。

ここは活動の場なのだから仕事をしたり苦手な活動をしたりする事もどこかで「当たり前」と思ってしまい、「ありがとう」とみんなに感謝する気持ちが減っていたのではと気がかされました。それに「頑張っ！」とよく声を掛けてしまうけれど、「ありがとう！」と伝える方が気持ちよく頑張れるのではとも思いました。

野の花に来て早5年が過ぎました。皆さんに会えたこと、こうして今同じ時を刻めていること、存在そのもの。日々本当に「ありがとう」がいっぱいです。これからも素敵な言葉「ありがとう」を忘れずにみなさんと過ごせていけたらと思います。



野の花だより

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は多方面からご支援いただきました。心より感謝いたします。

さて、いのやま福祉会 野の花 法人となりまして、本年で10年を迎えました。ただただ走り続けてきた10年のように思えます。

区切りの年、本年は地域の中の障がい者福祉を担う社会福祉法人として、皆様に求められているものを確固たる形として現していけるように努力して参ります。

これからも、皆様のご理解ご支援を、よろしくお願いいたします。

理事長 大内邦子

冬めきフェスタ

12月10日、障がい者週間のイベントとして、「冬めきフェスタ」を開催しました。これまでもコンサートなどを催してきましたが、今回は「このイベントを通してもっと地域の皆さまに野の花のことは知ってもらおう」をコンセプトに企画しました。

“メッセージコーナー”では野の花の利用者さん自身や保護者の方々の思い、また、我々職員がどのような思いで仕事に取り組んでいるかをメッセージや思い出の写真と共に展示しました。

“作業を体験してもらおうコーナー”では、パン教室やフェルトボールを使ったチャーム作りをしました。地域の小学生や親子連れの方、近隣の福祉施設の方々から熟年の紳士まで、大勢の方にご参加いただきました。

催し物会場には、丸亀市のゆるキャラ“とり奉行 骨付きじゅうじゅう”くんが登場。「骨付きGOGO!」を会場の皆さんと楽しく踊り、写真撮影会も。さらに、よさこいチーム「でけでけ隊」の1グループである“ぱずるすとええる”の皆さんの踊りも盛り上がり、にぎやかなひと時を過ごしました。

そして今年もイオン坂出様からクリスマスプレゼントをいただきました。一つ一つ丁寧に仕上げた縫製品から、野の花パン、カレー、ポップコーン、コーヒーまで、販売コーナーではたくさんお買い上げいただきました。

イベントを通して、また食事をしながら、たくさんの交流が生まれたことと思います。今後も楽しい企画をしてみたいです。またのご参加をお待ちしております。ありがとうございました。

忘年会

12月28日にオークラホテルで忘年会を行いました。今はやりのPPAPや恋ダンス、踊るポンポコリンやおにのパンツなどのダンスをみんなで楽しみました。料理もみんな「おいしいね!」と言いながら食べていました。2016年はこれで仕事納め。2017年も「いつも元気!」な野の花で頑張ってください!



ご厚志ありがとうございます!!

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン、イオン坂出、サニクリーン、坂本選果場、千田允子、岡本久二代、山下瑞穂、牛川和典、野田登代子、宮井位月、滝典代、杠真由美、宮田香代子

敬称略、順不同



就労移行

就労移行の利用者さんが増えました。10月からYさん（21歳）が、11月よりFさん（25歳）が利用を開始されました。Yさんは、養護学校卒業後、就労していましたが、離職され、野の花を利用することになりました。Fさんは普通高卒業後、専門学校で資格取得を目指しましたが、かなわず、スーパー等で仕事をされていました。これで、就労移行支援の利用者は現在4名となりました。

10月と11月にブロッコリーの植え付け、ニンニクの植え付けや芽だし等、農作業を頑張りました。琴平町、府中町、三野町、大野原町と遠くまで出かけました。

また、雨がよく降り、足元がぬかるんでおり、長ぐつをはいての作業となりました。しゃがんで作業するため、足腰が痛くなったりしましたが、辛抱強く最後まであきらめず、やり通すことができました。



生活介護

介護では、10月、5つのグループに分かれて、電車で外出をしてきました。JR坂出⇄高松間の快速マリンライナー17号・26号に乗車しました。坂出駅までの行き、帰りは、毎日活動で乗っている車を利用しました。お出かけになるといつもの車も遠足気分朝早くの出発もとても嬉しそうでした。電車は時速130キロの快速の為、窓から見た景色が早く通り過ぎ、ガタガタ揺れる座席などにびっくりしたことでしょう。

高松駅では、大勢の行き交う人の中でアンパンマン列車を見たり、駅の中で休憩したりして過ごしました。その際、各自が好きな飲み物をコンビニや自動販売機で選び、購入しました。車内のシートや構内のベンチで皆と飲んだ味は格別においしいのか、笑顔がたくさん見られました。

日ごろの行いの成果でしょうか、どの日も天候に恵まれ、無事に帰って来ることができました。短い時間の電車の旅でしたが、とても有意義なものとなりました。



就労継続B型

11月の土曜開所日に、屋島の四国村へ行きました。前日までの寒さが一転、お天気に恵まれ温かい日差の中での散歩になりました。野の花を出発して、最初の目的はビックリドンキーでの昼食です！10時半と早めの昼食で『皆、食べられるかな？』と、思いましたが…心配ご無用！皆、ほぼ完食です。利用者Tさんに「美味しかった？」と聞くと、『美味でした』との答えが返って来ました…さすがです！



昼食を終え、本日の目的地の四国村へ。四国村は四国各地から古民家を集め復元した家屋の展示や、祖谷のかずら橋（ミニチュア）、四季折々の花が鑑賞できるスポットです。険しい石畳に急な石の階段を下ったりと、大変なコースを手を繋ぎ時には悲鳴を上たりしながらの散歩でした。短い時間でしたが、それぞれの思い出を胸に野の花へ帰宅の途に。お天気にも恵まれ、美味しい昼食も食べ、楽しい一日を過ごす事が出来ました。



新しい職員さんの紹介です

やざわ ひさゆき しゅうろうけいぞく がた しよくぎょうしどういん
矢澤 久幸：就労継続B型 職業指導員



10月から野の花パン工房で働かせていただく事になりました矢澤久幸です。生まれ育ちは大阪で香川県に来て5年目になります。調理の仕事をしてきましたがパンを本格的に作るのは初めてです。不慣れではありますが一緒に働くスタッフや利用者さんから学んでいって皆さんに必要とされるスタッフに早くなれる様に頑張りたいと思いますので、これからもよろしくお願い致します。

ゆうあいピック卓球大会

第39回ゆうあいピックかがわ卓球大会が12月26日（月）にありました。野の花からは10名の選手が出場しました。試合に臨むまではみんな笑顔でワクワクした表情でしたが、試合が始まると真剣な表情で頑張っていました。試合結果はいろいろですがみんな楽しく参加されている様子で良かったです。

皆さん練習の成果を十分発揮することが出来ました。来年度の卓球大会に向けて、ますます練習に励んでもらいたいと思います。お疲れ様でした。

